

## 9月11日のウクライナ情報

安齋育郎

### ●スコット・リッター、ウクライナのハリコフ反撃について(2022年9月11日)

攻勢は終了した。ロシアは反撃している。数日のうちに領土を取り戻すだろう。ウクライナは数ヶ月かけて築いた予備軍を失うことだけに成功するだろう。これは現代の歴史上、最も愚かな軍事行動の一つで、まさに政治的なものだ。これまでのところ、ウクライナは約 6000 人の戦死者を出している

<https://www.youtube.com/watch?v=mB5LJNpqJyA>

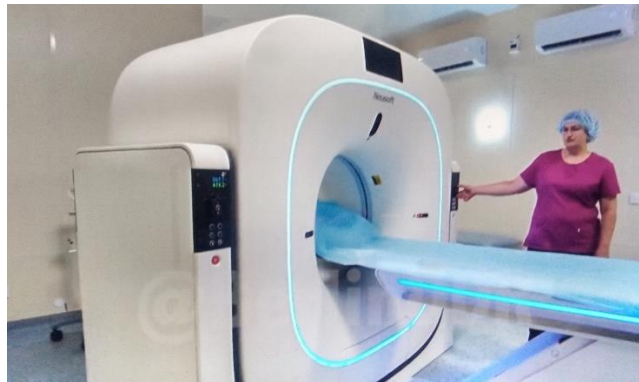
(日本語字幕はありません)

※安齋注:西側報道では真逆で、「ウクライナ軍の反撃は南部ヘルソン州から始まり、ロシア軍は南部へ部隊を集中していた間隙をついてなんとウクライナ軍は東部ハルキウ州へ攻撃を開始。これを槍先作戦といい歴史に残る大戦果(ロシア軍事評論家「1943 年以来最大のロシア軍の敗北」となった)」と報じています。どっちがホントかは、事実が示すでしょう。

### ●ロシア、ルハンスクに病院建設(2022年9月7日)

ドンバスにおけるロシア。言葉は行いである。ロシア国防省の専門家が、ルガンスクに 200 名の患者を収容する医療センターを 101 日間で建設しました。2 つの手術室、集中治療室、病室、医務室、医療機器一式が完備されています。

<https://twitter.com/BerlinDdr/status/1567250774576582657>



### ●ドンバスの村に住む女性、ウクライナの砲撃で家を破壊されたと語る(2022年9月10日)

<https://www.youtube.com/watch?v=wb5Jq5v0XcI>



## ●ウクライナ原発、稼働完全に停止 冷却を準備(2022年9月11日)

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOGR111PC0R10C22A9000000/>

【パリ=白石透冴】ウクライナ国営原子力企業エネルゴアトムは 11 日、ロシア軍が占拠するウクライナ南部ザポロジエ原子力発電所の稼働を完全に止めたと発表した。付近で相次ぐ爆発で緊急時に外部から電力を得られない恐れがあるなどとして、停止を検討していた。

同社は SNS(交流サイト)で「11 日午前 3 時 41 分(日本時間同 9 時 41 分)に 6 号基を送電網から切り離した。冷却の準備中だ」と表明した。同原発には原子炉が 6 基あるが、6 号基だけが稼働していた。過去 3 日は出力を大きく絞っていたという。原発事故の恐れは依然残っているため、周辺を非武装地帯とすることを改めて求めた。

ロシア軍は同原発を 3 月に制圧。反撃されにくいことから、武器や弾薬を運び込んで軍事拠点化を進めているとみられる。職員への圧力も強めており、エネルゴアトムのコティン総裁は仏 AFP 通信の取材に、職員 2 人がロシア軍による暴行で死亡し、約 10 人の行方が分からなくなっていると明らかにしている。

英国防省は 11 日、ウクライナから輸出された穀物のほとんどが欧州連合(EU)に渡ったとロシアのプーチン大統領が主張したことについて「3 割が低中所得の国に輸出されており、虚偽の主張だ。ウクライナに不信感を抱かせる戦略だ」などと分析した。

米シンクタンク戦争研究所は 10 日、ロシア軍はもう東部ルガンスク州の全域を支配できていないとの見解を発表した。7 月に全域の制圧を発表していたが、ウクライナ軍が 6 日に始めた東部占領地奪還作戦で一部を奪い返したとみている。

## ●乗っ取られたウクライナ2019(日本語字幕付き、再送、2022年4月21日)

<https://www.youtube.com/watch?v=1yUQKLiIoFA>



※映画解説文: "Ukraine on Fire" に続き、現在進行中のウクライナ危機と現在の政治の裏についてオリバー・ストーン監督が調査・映画化したものです。映画では、ウクライナの大物政治家、野党指導者のヴィクトル・メドヴェドチュクが、著名な映画監督オリバー・ストーンのインタビューを受けています。オリバー・ストーンは、ロシアのプーチン大統領にもインタビューし、ウクライナ危機について質問しています。ウクライナ紛争の理由と解決策について、それぞれの考えを映しています。マスメディアでは見ることのできない、リアルな「権力の駆け引き」の舞台裏に迫ります。